

- AIレーザー局所処理除草機と自動操舵トラクタを導入し、機械の稼働に適した畝形状に変更することで、有機農業拡大の課題となる除草作業を効率化。
- スマート農業技術を活用した除草工程の省力化・標準化による、有機農業の大規模化・安定供給体制を確立。

## 経営上の課題

- ・有機にんじんは市場ニーズがある一方、供給量は生産者数の少なさにより十分に確保できていない。
- ・雑草害による収量・品質の低下リスクと、除草作業に要する労働負担が課題。

有機農業面積の拡大にあたっては、スマート農業技術を活用した省力化・標準化が重要

### 申請者：

株式会社とかち河田ファーム（北海道音更町）

### 対象品目：

にんじん

### スマート農業技術：

自動操舵トラクタ  
AIレーザー局所処理除草機

### 新たな生産方式：

機械の稼働に適した畝形状の変更

### 活用予定の支援措置：

日本政策金融公庫の長期低利融資  
補助事業の優遇措置

## 計画の概要

### スマート農業技術

自動操舵トラクタ

+

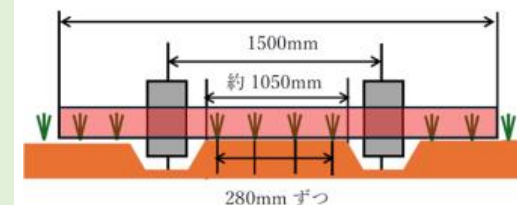
AIレーザー局所処理除草機



- ・自動操舵トラクターに画像認識AIに基づくレーザー局所処理除草機を搭載し、高精度の除草作業を実施

### 新たな生産方式

畝形状の変更



- ・AIレーザー局所処理除草機の検知幅や自動操舵トラクタのタイヤ幅に合わせ、畝幅を変更することで、除草作業を効率化し、有機農業取組面積を拡大

スマート農業技術を活用し、有機農業の大規模化・安定供給体制を確立